
株式会社山星屋における 商品品質情報の管理

2007年11月

- 株式会社山星屋会社概要

- 会社概要

- ネットワーク

■ 概要

- 社 名 株式会社山星屋
- 創 業 1909年10月
- 資 本 金 22億円
- 売 上 高 2,060億円（2007年1月実績）
- 事業内容 菓子食品を主体とする卸流通事業、
以上に付帯する多様なコンサルティング事業。
- 代 表 者 代表取締役社長 小西規雄
代表取締役副社長 塩川明男
- 主要株主 丸紅株式会社、明治製菓株式会社、江崎グリコ株式会社、
亀田製菓株式会社、カルビー株式会社、株式会社不二家、
森永製菓株式会社、ロッテ商事株式会社
- 本 社 大阪本社、東京本社
- 事 業 所 首都圏営業部、広域流通部、本社営業部、札幌支店、函館支店、
青森支店、盛岡支店、秋田支店、庄内支店、仙台支店、山形支店、
福島支店、宇都宮支店、水戸支店、高崎支店、埼玉支店、
神奈川支店、名古屋支店、北陸支店、南大阪支店、神戸支店、
堺支店、岡山支店、広島支店、福岡支店、徳島支店、今治支店、
松江支店、小郡支店、下関支店、沖縄営業所

■ 全国44ヶ所に広がるネットワーク

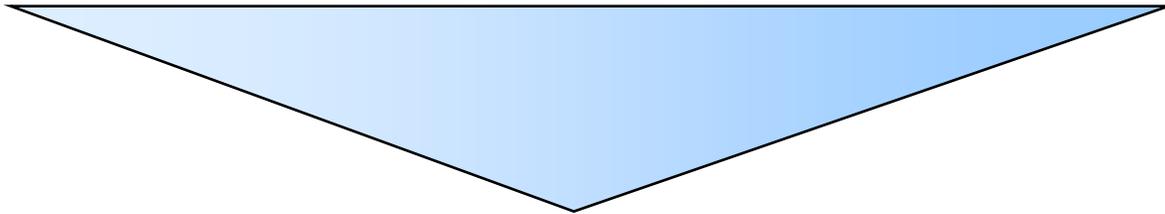


北は北海道からは南は沖縄まで、全国44カ所に広がるネットワークを整備し、全国のマーケット情報の収集から効率のよい在庫管理、計画的な配送システムに至るまで、質の高い営業を展開しています。

【1】新商品情報データベース 導入の背景①

1. JAS法の改正、消費者が求める情報の多様化

⇒「食品添加物」「製造産地・国」「原材料の産地・国」「遺伝子組換え」
「アレルギー表示」「賞味期限・製造日付」「カロリー」等

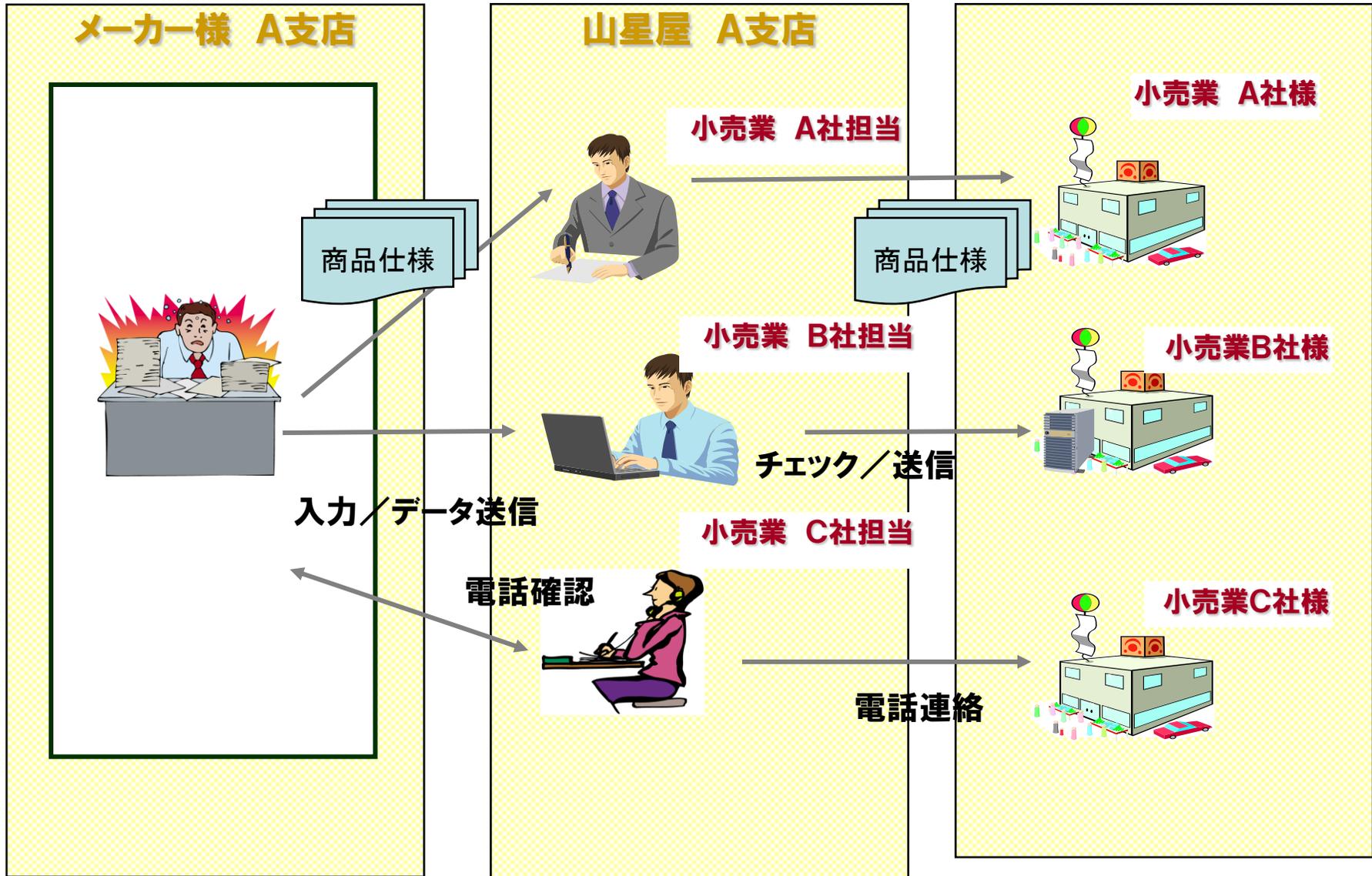


- 小売業様からの品質情報 提供依頼の急増
- // 提供方式の多様化
- // 提供内容の細部化



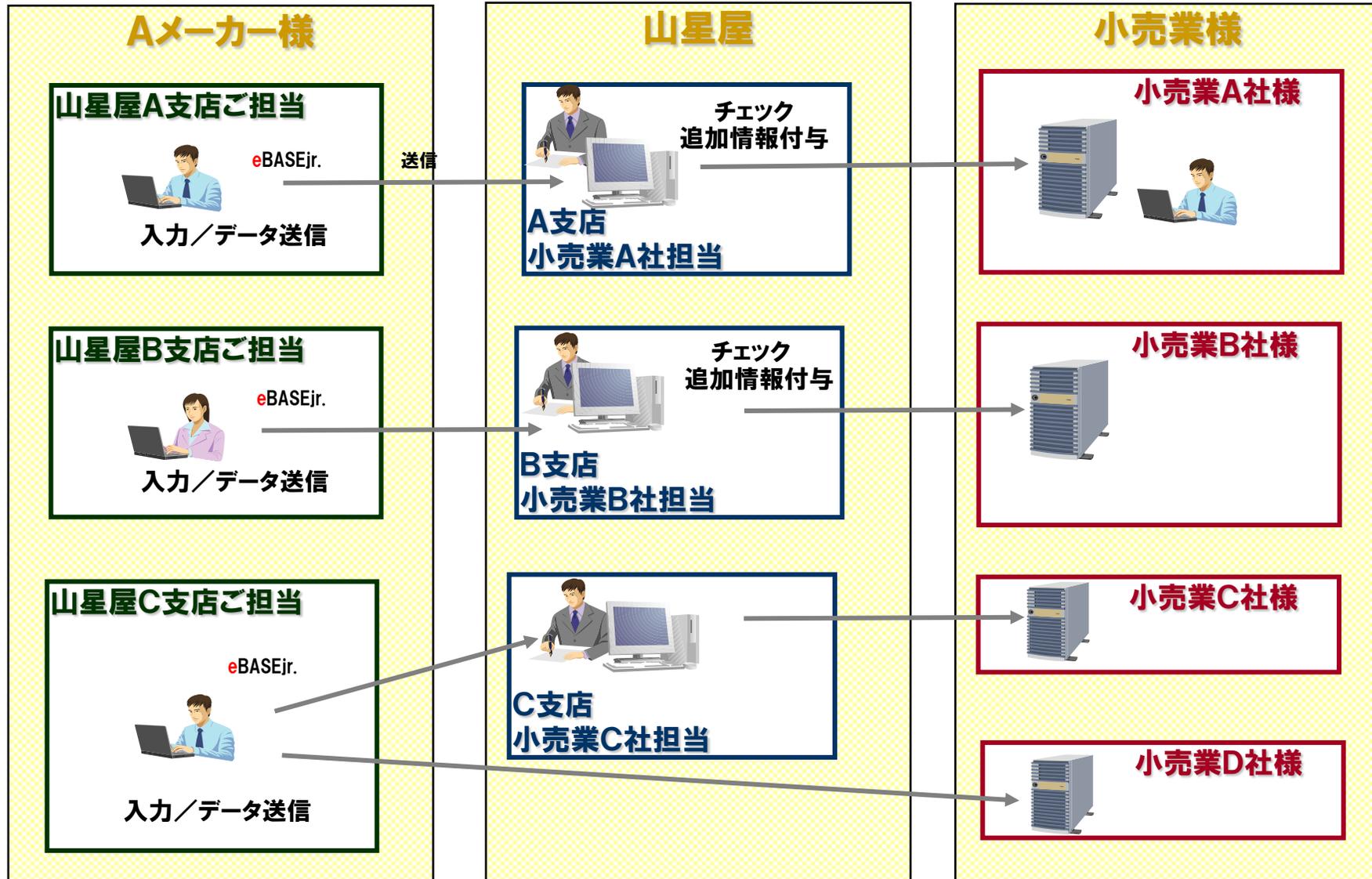
【1】新商品情報データベース 導入の背景②

商品マスタ情報提供作業の負荷(ムリ)増大



【1】新商品情報データベース 導入の背景③

商品仕様情報の提供作業の重複(ムダ)が発生



【2】新商品情報データベースの概要①

①eBASE社のパッケージソフト「FOODSeBASE」を導入

- ・食品業界(卸・小売・メーカー)では5500企業に導入されており、商品仕様管理システムのパッケージとして、完成度・認知度が高い
- ・法規制や業界標準ルール等への対応(項目追加)も即時なされており、対応即時性に優れている

②当社登録窓口(メーカー様窓口)の一本化

- ・業務支援部コード管理課に商品仕様情報登録窓口を設置
- ・メーカー様へも、窓口の一本化を依頼

⇒商品情報管理業務の効率化並びに高度化の推進

【2】新商品情報データベースの概要②

③登録された商品情報は、Web画面にてメーカー様・当社で共有利用が可能

- ・登録した内容から小売業様の指定帳票とのデータ連携可能

 - ⇒メーカー様及び山星屋営業の商品仕様情報作成に関わる業務の大幅削減

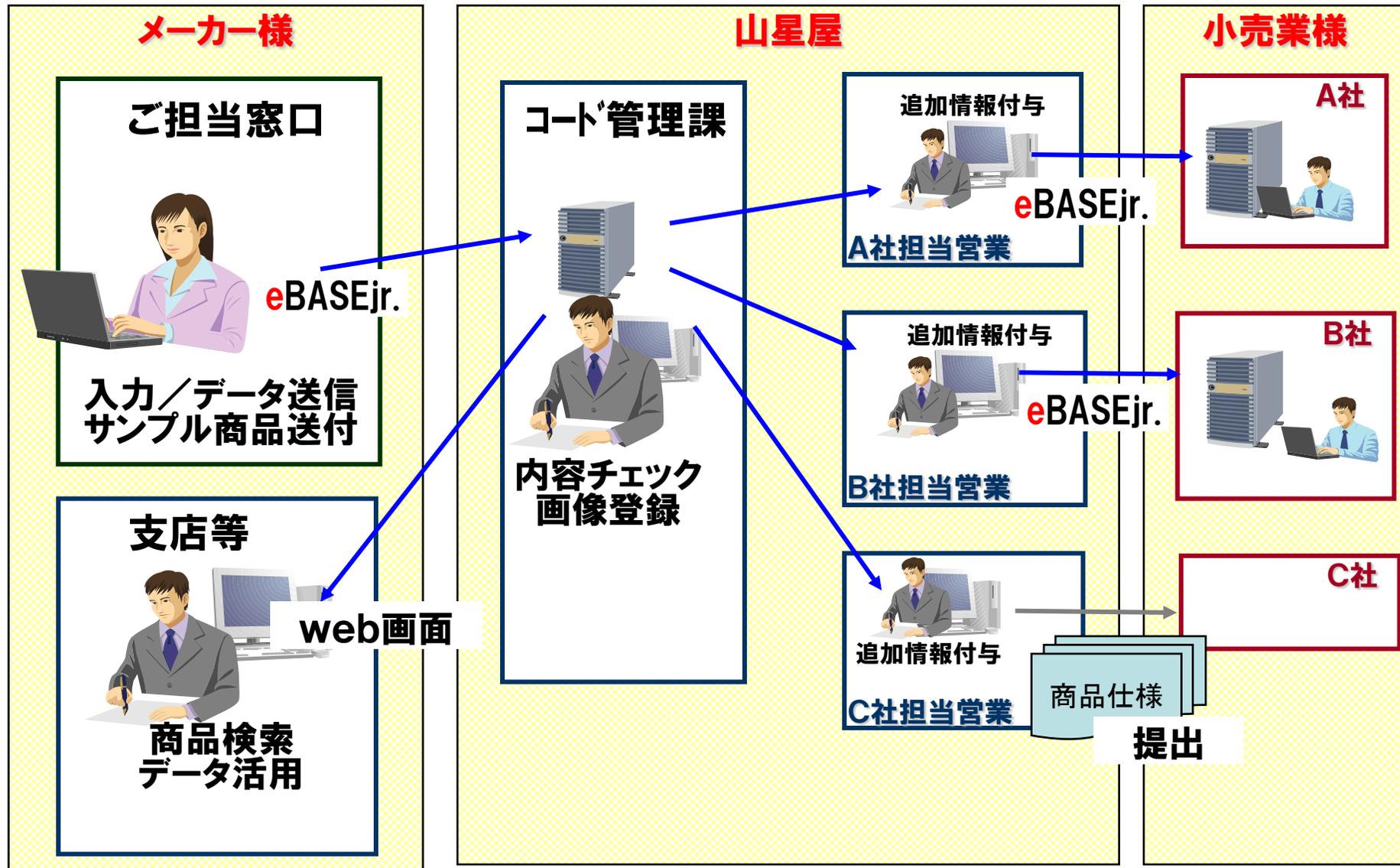
④棚割管理システムとの自動連携の実装

- ・山星屋営業担当の棚割PCへ商品情報を自動ダウンロード

 - ⇒小売業様への迅速な売場提案の実現

【3】新商品情報データベースの登録運用イメージ

※窓口の一本化で効率的なマスタ情報交換作業を実施



【4】全体システムイメージ図

